

令和3年度 奈良県立五條高等学校（全日制）学校評価計画表

<p>学校経営方針</p>	<p>「行きたい」「行かせたい」「来てよかった」と思える魅力と活力ある学校づくり</p> <p>(1) 教職員と生徒が互いのコミュニケーション能力を高め、共有化されたビジョンのもとで充実した教育活動を展開し、生徒一人一人の自己実現（本人のための教育推進）を目指すとともに、校訓である「質実・剛健・礼節」の体得を図ることを支援する。</p> <p>(2) 「学ぶ力」「生きる力」（知育・徳育・体育）の充実により今日的教育課題を主体的に解決できる力を培うとともに、「社会に貢献する自立した人材」の育成を目指し、地域や保護者から信頼される「魅力と特色ある学校づくり」に努める。</p> <p>(3) 「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成に努める。</p> <p>(4) コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりの更なる推進を目指し、保護者や地域住民等が本校の学校運営に参画し、連携を促進することにより、互いの信頼関係を深め、協力して学校運営の改善及び生徒の健全な育成に取り組む。</p>	<p>総合評価</p>			
<p>前年度の成果と課題</p>	<p>これまで、生徒の実態把握に努めながら、充実した施設設備を最大限に活用した取組を進め、『学校の魅力』を高めて『入学希望生徒の確保』に主眼をおき、学校の活性化に取り組んできた。しかし、地元五條市をはじめとする圏域の少子化が進み、今後の状況は見通しにくくなっている。</p> <p>平成19年度からスタートした「まなびの森コース」については、一定の成果を上げているが、魅力あるコースづくりを更に推進するため、令和元年度より「まなび」NEXT10プランをスタートさせた。4つの資質能力を明確化し、主体的・対話的で深い学びを通して外部機関とも連携しながら高度な教育活動を行っている。</p> <p>導入から15年になるスクールバスの運行をはじめ、教育相談スーパーバイザーの単独配置による教育相談体制の構築、学校運営協議会の設置によるコミュニティ・スクールの推進及びグラウンド人工芝生化による施設・設備の充実等、将来を見据えた学校改革に向けて積極的な取組を進めている。今後とも、現状の課題を整理・分析しながら、生徒・保護者の期待に応えられるよう、更なる改善・充実を図らなければならない。</p>				
<p>本年度の重点目標</p> <p>具体的目標 ○主な具体的方策（担当）</p>	<p>評価の指標等</p>	<p>自己評価</p>	<p>成果と課題</p>	<p>改善方策等</p>	<p>学校関係者評価</p>
<p>1 確かな学力の育成 －「知」の育成</p>					
<p>①わかる授業の展開（授業力の向上） ○ 学習活動の工夫を図る。（教務部）</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。（教務部） ○ 読書活動の活性化を図る。（文化図書部）</p> <p>③進路保障に関わる取組の充実 ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。（進路指導部） ○ 望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。（進路指導部） ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識をもって学習に取り組ませる。（進路指導部）</p>	<p>・生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている」 本年度<目標:70%以上></p> <p>・生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 本年度<目標:70%以上></p> <p>・保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 本年度<目標:70%以上></p> <p>・授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。 本年度<目標:70%以上></p> <p>・集会、説明会等の実施 本年度<目標:10回以上></p> <p>・上記実施状況について、ホームページによる情報発信 本年度<目標:10回以上></p> <p>・生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 令和2年度93.3%(分母:進路決定者)→ 本年度<目標:94%以上></p> <p>・生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 令和2年度 81.6% → 本年度<目標:85%以上></p>				
<p>2 豊かな人間性の育成 －「徳」の育成</p>					
<p>①学校行事の精選と内容の充実 ○ 体育活動に積極的に取り組む姿勢を養う。（保健体育部） ○ 文化行事の充実を図る。（文化図書部） ○ 国際理解を促進する。（総務部）</p> <p>②生徒及び保護者への啓発の充実 ○ 生徒一人一人の人権意識を高める。（人権教育部）</p>	<p>・各行事の参加率 本年度<目標:98%以上></p> <p>・今年度は、コロナ禍での新しい形の文化祭を検討し実施する。</p> <p>・ガートン校と協力して、オンライン交流・協働学習を行う。 本年度<目標:1回以上></p> <p>・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を発行する。 本年度<目標:10回以上></p>				
<p>3 たくましい心身の育成 －「体」の育成</p>					
<p>①部活動加入率の向上と体力の向上 ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。（生徒指導部） ○ 体育活動に積極的に取り組む姿勢を養う。（保健体育部）</p>	<p>・生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心ももてる内容である」 令和2年度 61.3% → 本年度<目標:80%以上></p> <p>・部活動加入の増加 令和2年度 75.0% → 本年度<目標:80%以上></p> <p>・球技大会、体育大会、耐寒金剛登山を実施する。</p> <p>・体育大会種目を生徒の希望をふまえて充実させる。</p>				

<p>②共通理解、同一步調、全校体制での指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育相談体制を確立する。(生徒指導部) ○ 職員一人一人の人権意識の資質向上を図る。(人権教育部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の参加率 <u>本年度<目標:98%以上></u> ・生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 <u>令和2年度 69.3% → 本年度<目標:75%以上></u> ・外部から招聘した講師による研修会の実施 <u>本年度<目標:2回></u> 				
4 地域・社会に貢献する自立した生徒の育成					
<p>①地域と共にある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との連携を深める。(広報企画部) <p>②人工芝グラウンド活用による諸活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校、地域への開放を進め、人工芝グラウンドを積極的に活用していただく機会を設ける。(全分掌) <p>③ホームページ等による効果的な広報活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ホームページや掲示板等を充実させる。(広報企画部) ○ 中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情報発信する。(広報企画部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小中学校への案内を充実させ、より多くの参加者を集める。 <u>本年度<目標:130名以上></u> ・近隣の小、中学校や地域へ広報を進め、本校への理解を高める取り組みを行う。 <u>本年度<目標:受け入れ2回以上></u> ・年間更新回数を増やし、情報のタイムリーな発信と行う。 <u>本年度<目標:200回以上></u> ・これまで以上に中学校や保護者へ情報発信し、より多くの参加者を募る。 <u>本年度<目標:350名以上></u> 				
5 学校改善のための組織的取組					
<p>①コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組によるm</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校改革と諸活動の最適化(全分掌) <p>②個々の生徒の強みを生かした進路実現における方策の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導に関する情報収集と情報提供を行い、教員の指導力を高める。(進路指導部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携、協働の推進 ・地域の事業所でのインターンシップ体験による適切な進路選択 ・地域の方と共に行う教育活動 ・研修会については、全体・学年ごとに合わせた総数 <u>本年度<目標:5回以上></u> ・進路に関する配布物・回覧物による情報提供 <u>本年度<目標:10回以上></u> 				

各分掌等の評価計画

分掌等	具体的目標	具体的方策	評価の指標等	自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
総務部	2-① ○ 国際理解を促進する。	・オーストラリア・ガートン校との交流をオンラインによって行う。	・ガートン校と協力して、オンライン交流・協働学習を行う。 <u>本年度<目標:1回以上></u>				
	○ 育友会・同窓会との連携を強化する。	・育友会・同窓会との連携を密にし、学校運営に対する協力・援助を求める。 ・育友会の諸行事の活性化を図る。	・育友会・同窓会の定例会に参加し、機会に応じて学校との交流 ・感染症対策に配慮して、諸行事を実施する。 <u>本年度<目標:2回以上></u>				
	○ 奨学金受付事務を円滑に実施する。	・生徒に各種奨学金の案内を行い、受付事務を円滑に進める。	・3年進学希望生徒に対して、日本学生支援機構奨学金及び各種奨学金の説明会の実施 <u>本年度<目標:年5回以上></u>				
教務部	1-① ○ 学習活動の工夫を図る。	・生徒の基礎学力の向上を図る。 ・生徒の実態に応じた授業展開、教材開発を行う。	・生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている」 <u>本年度<目標:70%以上></u>				
			・生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 <u>本年度<目標:70%以上></u>				
			・保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 <u>本年度<目標:70%以上></u>				
	1-② ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。	・各教科の研究授業を1回以上行い、2教科(輪番制)で指導主事を招いて実施する。 ・指導主事を招いた研究授業で	・授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。 <u>本年度<目標:70%以上></u>				

		は、研究協議に教科の教員が全員参加できるよう努める。 ・他教科の任意の授業を参観する期間を設け、参観希望授業の集約や調整、時間割変更を確実にを行う。	・教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」 本年度<目標:90%以上>				
生徒指導部	3-① ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。	・生徒会執行部の活動の活性化を図り、魅力ある実践活動を目指す。 ・部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。 ・各部に所属する生徒一人一人の所属感、使命感、活動意欲の高揚を図るため集会を開催する。	・生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心もてる内容である」 令和2年度 61.3% → 本年度<目標:80%以上> ・部活動加入の増加 令和2年度 75.0% → 本年度<目標:80%以上> ・キャプテン・部長会議の複数回開催				
	3-② ○ 教育相談体制を確立する。	・教育相談体制のもと支援を必要とする生徒（不登校傾向を示す生徒や特に困難な課題をもつ生徒等）やその保護者を対象に、外部機関と連携を図り、カウンセリングを受ける機会を広げる。	・悩みを抱える生徒の早期発見、早期対応、予防的な取組の実践 ・当該生徒対象にケース会議を開き、対応を検討する。 ・生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 令和2年度 69.3% → 本年度<目標:75%以上>				
	○ 基本的な生活習慣を確立する。	・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間を守ることなど、基本的な生活習慣を確立させる。	・年間欠席総数・・・昨年度比約10%以上の減少 令和2年度 2,579回 → 本年度<目標:2,320回未満> ・年間遅刻総数・・・昨年度比約10%以上の減少 令和2年度 872回 → 本年度<目標:780回未満>				
	○ 交通安全指導の徹底を図るとともに規範意識を向上させる。	・街頭での交通安全指導を実施するとともに、原付免許取得者や自転車通学生徒に対して各種集会を通して安全運転の意識を高める。事故・違反とともに絶無を目指す。 ・ホームルーム活動を通して、規範意識や人を思いやる態度を育成し、豊かな人間関係を築かせる。	・原付免許取得者集会、自転車通学生集会、自転車実技講習会、自転車通学生集会をそれぞれ開催する。 ・事故件数 令和2年度4件 → 本年度<目標:0件> ・違反件数 令和2年度8件 → 本年度<目標:0件> ・生徒アンケート「あなたは服装や髪型など学校の規則や決まりをきちんと守っていますか」 令和2年度95.5% → 本年度<目標:98%以上>				
進路指導部	1-③ ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。 ○ 望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。	・集会や説明会等を行うことで、望ましい勤労観、職業観を含め、自己の進路について広く深く考えさせる。	・集会、説明会等の実施 本年度<目標:10回以上> ・上記実施状況について、ホームページによる情報発信 本年度<目標:10回以上>				
	1-③ ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識をもって学習に取り組ませる。	・進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。	・生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 令和2年度93.3%(分母:進路決定者) → 本年度<目標:90%以上> ・生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 令和2年度 81.6% → 本年度<目標:85%以上> ・各学年進路講習の企画立案総数 本年度<目標:5回以上>				
	5-② ○ 進路指導に関する情報収集と情報提供を行い、教員の指導力を高める。	・進路指導に関わる職員研修の機会を適宜もつ。 ・進路指導に関する情報提供を行う。	・研修会については、全体・学年ごとに合わせた総数 本年度<目標:5回以上> ・進路に関する配布物・回覧物による情報提供 本年度<目標:10回以上>				
人権教育部	2-② ○ 生徒一人一人の人権意識を高める。	・「人権を確かめあう日」の啓発文書の文案作成を各分掌に依頼し、多様な視点から人権について考えさせる啓発文書を配布する。	・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を発行する。 本年度<目標:10回以上>				
	3-②	・人権教育推進に関する職員	・年1～2回外部から招聘した講師による研修会の実施				

	○ 職員一人一人の人権意識の資質向上を図る。	研修会を実施する。 ・職員に研修会等の案内及び参加を依頼する。	本年度<目標:2回以上> ・高人教など各種団体の主催する研究大会や学習会などへ積極的に参加する。				
	○ 人権教育・道徳教育の充実を図り、一人一人の人間としての在り方生き方を大切に育てる。	・人権ホームルームについては、生徒の実態に応じてホームルーム毎に指導内容を工夫する。 ・道徳教育の全体計画を作成し、道徳教育を推進する。	・新たな人権教育年間計画を作成する ・生徒アンケート「五條高校では、授業やホームルームにおいて人権問題について考える機会が多い」 令和2年度 83.1% → 本年度<目標:90%以上> ・道徳教育全体計画に基づき実施し、成果を検証する。				
	○ 人権系の力量を高める。	・全学年のホームルームから人権係を2名ずつ選出し、人権意識向上のための活動を行う。 ・人権系の生徒を対象に人権にかかわる講習会を開催する。	・「人権を確かめあう日」の啓發文書配布時に、係生徒が全校生徒に向けて、その趣旨を放送によりアピールする。 ・ボランティア活動への積極的な参加。 ・人権に関わる講習会等を実施し、クラスで人権教育の中心として活動できる力量を育てる。 ・文化芸術鑑賞会の司会を人権係が担当する。				
文化 図書部	1-② ○ 読書活動の活性化を図る。	・生徒の読書の機会を増やし、自ら読書に取り組み、自らの生活を豊かなものにしようとする態度を養う。 ・五條市立図書館との連携を図る。	・「読書の時間」を(月)と(水)のSHRに7分設定し、考査後1週間は、全ての日で実施。読書の習慣を身に付けさせる取組を進める。 ・五條市立図書館との合同企画を検討する。				
	2-① ○ 文化行事の充実を図る。	・文化行事の実施により、生徒の自主性や創造性を伸ばし、生徒自らが文化的な活動に取り組む意欲を醸成する。	・今年度は、コロナ禍での新しい形の文化祭を検討し実施する。 ・カルタ大会、おはなし会についても新しい形を模索する。可能な状況であれば実施する。				
	○ 図書館利用の促進を図る。	・図書館報や図書館だよりを発行し、図書館利用を促進する。	・安全に利用するためにルールやマナーの向上を図る。 令和2年度 利用者延べ6,716人 貸出冊数1,395冊 数値目標は掲げず、感染予防対策を徹底した利用を促す。				
保健 体育部	3-① ○ 体育活動に積極的に取り組む姿勢を養う。	・体育活動を通じて生徒の心身の健全な発育と体力の向上(脚力・忍耐力)を図るとともに、生徒を主体とした体育活動を実施する。	・球技大会、体育大会、耐寒金剛登山を実施する。 ・体育大会種目を生徒の希望をふまえて充実させる。 ・各行事の参加率 本年度<目標:98%以上>				
	○ 体力の向上を図る。	・体育の授業だけでなく、自らの生活の中で体力向上を目指した運動の習慣を確立させる。(長期の休業中に何らかのトレーニングをさせる。)	・4月の体力測定、スポーツテストの結果を踏まえ全学年男女で前年度の数値アップ 本年度<目標:8項目中5項目以上数値アップ>				
環境 整備部	○ 校内美化を推進する。	・日々の清掃活動により校内美化を推進する。 ・大掃除を実施する。 ・校舎内外の施設及び設備を大切に使用する。	・保護者アンケート「五條高校では、清掃が行き届いており、校内がきれいに整備されている」 令和2年度 36.9% → 本年度<目標:50%以上>				
	○ 美化委員会活動を充実させる。	・当番制で花の水やり活動を進める。 ・通学路美化活動を実施する。 ・ゴミの分別を徹底する。	・通学路清掃の実施 本年度<目標:学期に1回実施> ・花の水やり 本年度<目標:毎日実施> ・花の植え替え 本年度<目標:年2回実施>				
	○ 防災教育を推進する。	・避難訓練等を実施することにより、防災意識を高め、災害から身を守る取組を進める。	・火災や地震等を想定した避難訓練を実施する。 ・防災についての研修を深める。				
広報 企画部	4-① ○ 地域との連携を深める。	・「五高スポーツ教室」「五高カルチャー講座」「コットンプロジェクト」等を実施する。 ・地域の行事に参加・貢献する。	・近隣小中学校への案内を充実させ、より多くの参加者を集める。 本年度<目標:130名以上> ・校内で生徒のボランティアを募り、より多くの参加生徒を参加させる。				

	4-③ ○ 学校ホームページや掲示板等を充実させる。	・学校ホームページの充実を図り、保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。	・年間更新回数を増やし、情報のタイムリーな発信 本年度<目標:200回以上>				
	4-③ ○ 中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情報発信する。	・学校紹介パンフレット等の作成と発送を行う。 ・オープンキャンパスを開催する。	・『学校紹介』(4,000部)を刷新し、より魅力的なものとする。 ・これまで以上に中学校や保護者へ情報発信し、より多くの参加者を募る。 本年度<目標:350名以上>				
第1学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	・中学校との違いを認識し五條高校の生徒としての自覚をもたせ、挨拶の励行と遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組む姿勢を養う。	・遅刻の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:15回未満> ・欠席の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:100日未満>				
	○ 部活動への参加を勧める。	・学習と部活動の両立を目指し、学校生活を意欲的に過ごす姿勢を育てる。	・部活動の加入率 本年度<目標:80%以上>				
	○ 基礎学力を充実させる。	・授業を最大限に活用し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。	・平日に家庭学習を毎日する生徒の割合 本年度<目標:70%以上>				
	○ 進路目標を明確化させる。	・自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、確固たる進路目標をもたせる。	・LHR等の時間を利用し、第1学年の間に進路目標が定まった者の割合 本年度<目標:80%以上>				
第2学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	・中堅学年としての自覚をもたせ、遅刻や欠席をせず、授業に集中して取り組む姿勢を養う。 ・挨拶、言葉遣い等の礼儀作法を徹底させる。	・遅刻の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:15回未満> ・欠席の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:80日未満>				
	○ 基礎学力の定着を図り、具体的な進路目標を設定させる。	・課題の提出、小テストに向けての準備を徹底させ、自主学習、家庭学習を習慣付ける。 ・主体的に自己の進路について考えさせ、より具体的な進路目標を設定させる。	・平日における授業以外の学習時間が1時間以上である生徒の割合 本年度<目標:60%以上> ・第2学年の間に志望校、志望職種が定まった生徒の割合 本年度<目標:80%以上>				
	○ たくましい心身を備え、充実した高校生活を送らせる。	・自他を尊び、五條高校の一員として誇りをもたせる。	・学校に来ることが楽しいという生徒の割合 本年度<目標:80%以上>				
第3学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	・社会人として必要な挨拶、言葉遣い等の礼儀作法、判断力、規範意識を身に付けさせる。また、残り少ない高校生活を無駄にせず、充実した毎日を過ごさせる。	・最高学年としての自覚と責任をもち、時と場に応じた言動の育成 ・遅刻の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:15回未満> ・欠席の各クラス別年間総数の平均 本年度<目標:65日未満>				
	○ 自主学習の定着を図る。	・卒業後の進路を見据えて、授業、進学講習等に能動的に取り組ませるとともに、家庭においても自主的な学習を定着させる。	・平日に家庭学習を毎日する生徒の割合 本年度<目標:80%以上>				
	○ 進路目標を決定させ、その実現に向けて取り組ませる。	・具体的な進路目標を主体的に決定し、その実現に向けて効果的、能動的に取り組ませる。 ・一人一人の進路に応じて丁寧な指導を行う。	・進路決定率 本年度<目標:95%以上> ・生徒アンケート・保護者アンケート「一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 本年度<目標:75%以上>				